

傍聴者募集

平成30年

6月27日開催

京都市市民参加推進フォーラム 平成30年度第1回会議

市民参加推進フォーラムは、京都市の市民参加の推進について調査・審議などを行う京都市の附属機関です。公募により選任された方のほか、学識者、NPOやまちづくり活動に携わっている方などで構成されています。

京都市は、このフォーラムと共に「第2期京都市市民参加推進計画改定版」の下、市民参加を進めるための様々な取組を展開しています。

このたび、下記のとおりフォーラム会議を開催します。みなさまもぜひ、傍聴にお越しください。

なお、会場では、要約筆記、手話通訳、託児を用意しますので、お気軽にご利用ください（要事前申込）。



日時 平成30年6月27日（水）午後6時30分～午後8時15分

場所 職員会館かもがわ 2階 大会議室
※ 開催時は駐車場・駐輪場を用意できませんので、来場の際は公共交通機関を御利用ください。

傍聴人数 先着10名（当日午後6時15分から会場で受付をします。）
※ 要約筆記、手話通訳、託児が必要な方は6月20日（水）までに事務局までご連絡ください。

内容 **(1)京都市市民参加推進計画の進捗管理について**
(予定) ※ 今後の方針と、今年度取り組む議題について話し合います。

(2)その他

問合せ先 京都市総合企画局 総合政策室 創生戦略・市民協働推進担当
電話：075-222-3178 Fax：075-212-2902
メール：daigaku-shiminsanka@city.kyoto.lg.jp

市民による自治120年



- いけだ あかね (市民公募委員)
- うちだ かな (きょうとNPOセンター法人経営本部副統括責任者)
- おおとりい ゆうま 大鳥井 悠真 (市民公募委員)
- かねだ よしひろ 金田 喜弘 (佛教大学福祉教育開発センター講師)
- かねまつ よしひろ 兼松 佳宏 (京都精華大学人文学部特任講師/NPO法人グリーンズ理事)
- さくらい まさなり 桜井 政成 (立命館大学政策科学部教授)
- ささき たつり 佐々木 達憲 (市民公募委員)
- しのはら さちこ 篠原 幸子 (NPO法人場とつながりラボhome's vi 理事)
- すがたに ゆきひろ 菅谷 幸弘 (六原自治連合会事務局長/六原まちづくり委員会委員長)
- すぎやま じゅん 杉山 準 (NPO法人劇研理事・事務局長)
- ハッカライネン ニーナ (市民公募委員)
- やまの しゅうへい 山野 修平 (公益社団法人京都青年会議所副理事長)
- まつした あきこ 松下 亜樹子 (京都新聞社論説委員)
- みぶ ひろこ 壬生 裕子 (同志社大学政策学部嘱託講師)
- もりかわ ひろよし 森川 宏剛 (NPO法人京都景観フォーラム理事)



～京都市からのおしらせ～

市政参加とまちづくり
ポータルサイト

京都市がもっとよくなる、もっと住みやすくなるための「市政」への参加や、「まちづくり」活動をサポートします！
【みんなでつくる京都】
<https://tsukuru-kyoto.net/>
＼参加しよう！／

会場地図



職員会館かもがわ
【交通機関】
○地下鉄
「京都市役所前駅」
徒歩約10分
○市バス
「河原町丸太町」
徒歩約5分



※フォーラムについて、詳しくは京都市ホームページをご参照ください。
(<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000035250.html>)
会議結果は、後日、とりまとめて公表するほか、動画配信サイトを利用して会議の音声を配信します。

平成30年6月発行
京都市印刷物第304240号

(総合企画局総合政策室創生戦略・市民協働推進担当発行) この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ！



第2期京都市市民参加推進計画 改定版の全体像

目指す未来像

『参加と協働により、豊かで活力のある地域社会の実現』

『5年後の地域社会の姿』

市民、地域の住民組織、NPO、企業・事業者、大学、寺社、行政等のあらゆる主体が、まちづくりにおけるそれぞれの役割を積極的に果たすとともに、これまでの役割の範囲を越えて連携し、対等の立場で知恵と力を出し合う協働のまちづくりや、地域コミュニティの活性化が進み、その成果を市民が実感している。

3つの基本方針で推進

市会と連携

基本方針

2

市民の市政への参加の推進

市民の市政への参加を推進するフェーズ(局面)



フェーズ1

- 施策4 市政やまちづくりを「自分ごと」、「みんなごと」と感じられる情報提供の工夫
- 施策5 市政への参加の仕組みのユニバーサルデザイン化の推進
- 施策6 子ども、大学生など若い世代の市政への参加の推進

フェーズ2

- 施策7 市政運営のあらゆる過程における参加の機会の提供
- 施策8 市民の手ごたえにつながる市政への参加の成果の公表

フェーズ3

- 施策9 あらゆる市政分野での市民と京都市の知恵と力を最大限いかす協働の推進
- 施策10 市民とともに政策課題に取り組む協働型事業の充実

基本方針

1

市民との未来像・課題の共有

価値観や地域課題が多様化する中で、豊かで活力ある地域社会を実現するためには、京都の未来像や課題を、あらゆる主体が対話をしながら、しっかりと共有し、市政やまちづくりを「ひとごと」ではなく、「自分ごと」、「みんなごと」と捉え、知恵と力を出し合うことが、ますます必要となっている。

施策2 市民と市職員の 対話の推進

市民と市職員が互いの問題意識や、その意識を持つに至った背景となる情報・想いなども含めて伝え合い、どのような未来を目指すかの目標もしっかりと共有するものとし、さらには、共に問題の発見・分析や課題の特定に取り組むため、対話の機会を充実

施策3 市民と多様な主体が 対話する機会の充実

多様な主体が対話により伝え合い、相互理解を深め、未来像・課題を共有する機会の充実を図るとともに、市民が主体的に行う対話の機会づくりを支援

施策1 市民との情報共有の推進

あらゆる主体と京都市が未来像・課題を共有し、市政やまちづくりに共に取り組むために必要な情報を、全て積極的にかつ迅速に公開・提供。また、分かりやすい情報提供を行うとともに、京都市が持つ様々な情報を誰もが活用できる形で提供するオープンデータを推進

計画の基盤となる方針

基本方針

3

市民のまちづくり活動の活性化

市民のまちづくり活動を活性化させるフェーズ(局面)



フェーズ1

- 施策11 市民のまちづくり活動が多く市民にとって「自分ごと」、「みんなごと」となる情報発信の支援
- 施策12 市民が気軽に参加できる「まちづくり活動への入口」となる機会づくりの推進
- 施策13 市民がまちづくり活動に積極的に取り組める企業啓発や社会環境づくりの推進

フェーズ2

- 施策14 市民のまちづくり活動に必要な資源をコーディネートする機能の充実
- 施策15 地域力の一層の向上を図る地域コミュニティ活性化の取組の充実
- 施策16 市民のまちづくり活動を社会全体で支える機会の醸成と仕組みの充実
- 施策17 ソーシャルインノベーションの活性化

フェーズ3

- 施策18 フューチャーセンター機能など、多様な主体の協働を促進する機会づくりや仕組みの充実
- 施策19 多様な主体の協働のまちづくり活動を支える「併走型支援」の実施

計画を着実に進めるための推進体制

取組1: 各局区・各職場における市民参加推進のマネジメント体制の強化

取組2: 職員の市民参加推進に対する意識の向上と能力開発の計画的な実施

取組3: 区役所・支所の総合調整機能の強化

取組4: 市民参加推進計画の進捗状況や課題の公表